定期作況報告

(令和3年7月20日現在) 酪農試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。

6月下旬:最高気温が 19.2 $^{\circ}$ (対平年比、以下同 +1.5 $^{\circ}$) と平年より高く、最低気温が 11.0 度 (+0.6 $^{\circ}$) と平年よりやや高かったため、平均気温は 14.9 $^{\circ}$ (+1.0 $^{\circ}$) と平年よりや や高かった。降水量は 1.0 $^{\circ}$ (5%) と平年より少なかった。日照時間は 70.7 時間 (150%) と平年より長かった。

7月上旬:最高気温が 17.8℃ (-2.4℃) と平年より低く、最低気温が 12.2℃ (-1.1℃) と平年よりやや低かったため、平均気温は 14.2℃ (-2.1℃) と平年より低かった。降水量は 9.0mm (31%) と平年より少なかった。日照時間は 25.2 時間 (54%) と平年より短かった。

7月中旬:最高気温は 27.1° (+ 6.1°)、最低気温が 18.6° (+ 4.4°) とも平年より高かったため、平均気温は 22.5° (+ 5.3°) と平年より高かった。降水量は 0.0mm (0%) と平年より少なかった。日照時間は 88.3 時間 (187%) と平年より長かった。

平均気温の 3 旬の平均は 17.2^{\circ} (+1.4 \circ) と平年よりやや高かった。降水量の 3 旬の合計は 10.0mm (14%) と平年よりかなり少なかった。日照時間の 3 旬の合計は 184.2 時間 (131%) と平年よりやや長かった。

気象表

月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下	14.9	13.9	1.0	19. 2	17.7	1.5	11.0	10.4	0.6
7月	上	14.2	16. 3	$\triangle 2.1$	17.8	20.2	$\triangle 2.4$	12.2	13.3	△1.1
	中	22.5	17. 2	5. 3	27. 1	21.0	6. 1	18.6	14.2	4. 4
3 旬平均		17. 2	15.8	1.4	21. 4	19. 7	1. 7	13. 9	12.6	1.3

н	旬	降水量 (mm)			降水日数(日)			日照時間(h)		
月		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下	1.0	21.7	△20.7	0	3	$\triangle 3$	70. 7	47. 3	23. 4
7月	十	9.0	29.4	△20.4	3	3	0	25. 2	46.3	△21.1
	中	0.0	21.7	△21.7	0	2	$\triangle 2$	88. 3	47. 1	41.2
3旬合計または 平均		10.0	72.7	△62.7	3	10	△7	184. 2	140. 7	43.5

- 注1) 観測値は浜頓別アメダスのデータ。
 - 2) 平年値は前10か年の平均値。
 - 3) △印は対平年値比減を示す。

Ⅱ 作 況

採草型 チモシー

(2番草)作況:やや不良

事由: 6月以降の降水量不足と7月中旬の高温により水分が不足し、生育が停滞している。

そのため、7月20日現在の草丈は平年より8cm低かった。 以上より、目下の作況はやや不良と判断される。

調査項目	本年	平年	比較
草丈(cm)(7月20日)	34	42	△ 8
生育日数(日)	28	33	\triangle 5

注) 平年値は前7カ年のうち、最豊年(平成30(2018)年) および最凶年(平成27(2015)年) および草丈の調査を7月25日に行った令和元年(2019)年を除いた4カ年の平均値である。